

平成29年2月
第014号



山家神社社務所
sanadashrine.com/yamaga
〒386-2201 上田市真田町長 4473
Tel.0268(72)5700

山家 慎聞

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩とに感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと
一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること
一、永遠と続く歴史の中にある今を受け継いだモノを守り伝えること

餅は？



白山宮も靈驗あらたかなお姿に：真田の民にとつては冷厳も白山さまお住まいの四阿山は、三月末澄み渡る青色に白い姿が浮き出、昔の人が神を仰いだままの状態、変わっていくのは私たちです。

不肖押森、先日の雪かきでの事。大社にいた頃は雪が降れば喜んで外に出て一日作業をしておりました。参詣に多く訪れるので参道の確保から転倒防止に氷砕き等。それが今は：。安定した給料が保障されていたからか？との天の声（雪が落ちてきた）に不徳の致すところと反省しました。地方神主として道は二つ、目に見える外での活動で神主として偉くなつていくのか、やる事は無数にある神社をお守りし気付かれないだろうけれど少しずつ良くしていくか。地域のみやぶかさとして常時お宮で餅をつきたい（願望

山家郷塾開塾

五回

『山家慎聞』この慎聞という字は真田の心を尋ねるという趣旨なのですが、左上にあるものはなんなのか？？疑問に思われている方もいらつしやると思います。実はこれなんです。ふるさとを味わう会。

【日時】二月三日（金）午後七時

【場所】山家神社社務所

【会費】一人 二五〇〇円

参加人数を神社にも伝え下さい

【講演】「真田 de 語らナイト！」

☆真田歴史トーク 真田 徹 様

小栗 さくら様

☆きき酒講座 宮島 国彦 様

☆懇親会

御神酒は災禍をよける菜の水



昨年の真田丸は航海を無事終えましたが、先祖から受継ぎ伝えるここ真田の地と、そこに暮らす私たちは、歴史への船旅の標（しるべ）で在り続けます。今までの見守る側であった真田丸、これからの漕ぎ出す真田丸、共に語り合ひましょう。

山家流餅つき

真田には餅つき師ブンさんがいます。今まで機械でついていた家も、もち米もって鎮守の杜で美味しいお餅を！今年の暮れより真田郷の恒例行事にしませんか？



節分厄除大祭

二月三日（金）

神事 午前十二時半から

鳴弦の儀 午後一時頃

破邪の儀

翁の鬼遣い 午後一時半前

豆まき 午後一時半頃



「真田地域の皆様へ感謝の心を込め、本年は真田丸おこよう役長野里美さまをご招待して

おります。真田郷を故郷に感じてもらいましょう！



昨年より恒例のダルマの中になんと【七福神】↓福を家にお持ち下さい。七つ集めるのは大変かも：幸矢（さちや）を拾った方には↑【御神号軸】



年号入りの一点物となります。真田家家臣のお部屋を各家庭に用意して下さい



駒形稲荷社に願いを

真田丸の影響もあり、山家神社にも多くの人が参詣に訪れました。この尊いお賽銭は地域の鎮守の社である神社の為に使わせていただきます。神社の記録には上田藩主宮織の撰末社が五社記され、その一社が駒形稲荷社。この駒形とつく稲荷は全国的にも珍しく、真田氏の牧の経営に関わりがあると云われています。このお社を修営し、年一回商売関係の方参列のもと祭祀の厳修を検討しています。小さくも歴史と共にある重要な神社の存在も知ってください。私が宮司の間の生涯の任務は、御山を始めとする周りのお社の整備となりそうです。

